

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail : akiosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

早春の風物詩「秋吉台山焼き」 草原の一年間のしめくり

秋吉台の山焼きが行われました。これは毎年2月第3日曜日に行われるもので、今年は2月17日でした。午前9時半のサイレンの吹鳴と5連発の狼煙を合図に一斉に火が入れられました。長者ヶ森駐車場沿いのカルストロードは、北寄りの風が強く、煙が返ってくるばかりでなかなか燃え広がりにません。そうするうちに、火勢が地獄台方面から北山を越えて広がってきました。

秋吉台の山焼きは、草原の一年間のしめくりであり、また一年の始まりでもあります。黒い台地に遊歩道が白く細く見えます。青草が伸びてしまうまでの、この時期ならではの秋吉台の風景を楽しみに出かけてはいかがでしょうか。新しい発見があるかもしれません。



旧県育成牧場跡

大きなハートの移り変わり

平成26年度で廃止になった旧育成牧場の跡地の現在のような様子です。牧草に代わっているいろいろな雑草が広がって、いつかはセイタカアワダチソウで黄色いハートになってしまうのではないかと思います。意図してハート型にしたのかわかりませんが、四季折々のハートの景色が楽しめました。夏には緑のハート、冬でも伸びる牧草を刈り取った後に雪が積もれば白いハート。最近では、ハートのある景色がなにかと話題になることがあります。どうにかして良い景色をとりもどして残すことができないものかと・・・



「ニホンヒキガエル、ヤマアカガエルの観察とオタマジャクシ・卵のレスキュー大作戦」

2月17日、観察会「ニホンヒキガエル、ヤマアカガエルの観察とオタマジャクシ・卵のレスキュー大作戦」を行いました。山焼きが終わったばかりの秋吉台へ出かけました。冠山の湧水では、産卵は見られましたが、カエルはいませんでした。秋吉台家族旅行村のジャブジャブ池には、たくさんの産卵が見られ、産卵を終えたニホンヒキガエルも観察することができました。ジャブジャブ池は落ち葉などが溜まってしまい環境が良くないため、幾らかの卵を救ってオタマジャクシにしてもどそうと思います。



観察、調査、研究の発表会 ～～コツコツと努力を重ねて疑問を解明～～

カエルの観察会にあたって3人の参加者に、これまでに観察、調査、研究したことを発表していただきました。

小学1年生の田原一花さんは「りょうせいのいの こうつう死ぼうじこのちょうさ」、

小学5年生の岩本昂君は「生き物伝説 カエルとイボの関係 ミミズの怪の真実」、

高校3年生の松向寺智哉君は「ヒキガエル科の捕食行動における後肢のクリック行動について」それぞれ興味深い内容で面白く、たいへん分かりやすい説明でした。



人々と秋吉台の関わり合い 縄文時代から今日まで

山焼きが終わって秋吉台を歩いていると、何か白いものがありました。ノウサギのフンが乾燥したのかなと思いましたが、そうではありませんでした。火縄銃の玉です。拾ってみると小さい割にはずっしりと重さがあります。大きい方が5匁玉、小さい方が4匁玉でしょうか。秋吉台では、縄文時代の石鏃や旧日本陸軍の銃弾頭、砲弾の破片などが見つかることがあります。古くからの人々と秋吉台のいろんな関わり合いの一面でもあります。



平成30年度の諸行事を終えて

平成30年度の行事が終了いたしました。これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。来年度も相変わリませず、よろしくお願ひいたします。